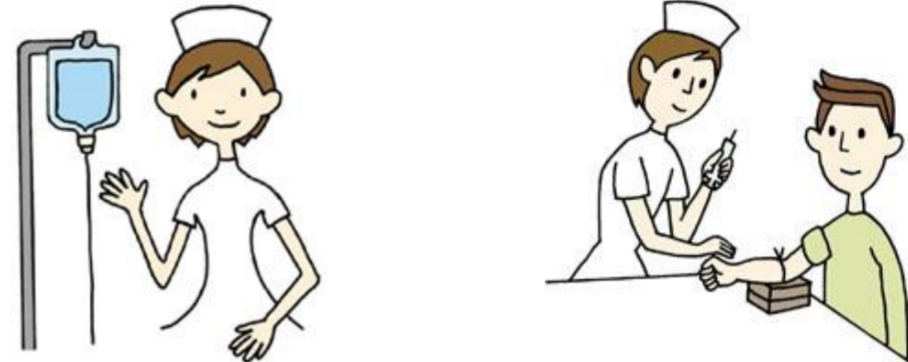




気胸の手術を受けられた患者様へ

年 月 日

患者用クリニカルパス

患者氏名 : 様 担当医: 担当看護師: 本人・家族

月日(日時)	/ /		/ /	
経過(病日等)	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目または4日目
達成目標	循環動態が安定している。 創感染・肺炎の兆候がない。 創部発赤、腫脹なし、38.5℃以上の発熱がない。 創痛がコントロールされている。		創感染。肺炎の兆候がない。 創部発赤、腫脹なし、38.5℃以上の発熱がない。 感染予防のための行動がとれる。	
治療・薬剤・処置 (点滴・内服)	心電図モニター・酸素・点滴・尿管がついています。 医師の指示がある場合は、毎食前に血糖測定を行う場合があります。 医師の回診は、毎日おこないます。 点滴や酸素は医師の指示によりはずれます。 創部に胸に管が入ってます。術後翌日のレントゲンの結果でよければ胸の管が抜けます。 安静度が病棟内まで自由に動けるようになったら、弾性ストッキングが脱げます。 術後は痛みのコントロールができるまで、痛み止めを朝・昼食後、眠前と内服します。 胸の管が抜けたら、痛み止めは頓服へと変更していきましょう。			
検査	医師の指示に従い、適宜採血やレントゲンの検査があります。			
活動 安静度	集中治療室入室時はベッド上安静です。 病棟へ帰室後より医師の指示に従い安静度の指示が変わります。 病棟へ帰室してから看護師の付き添いのもと歩行練習を行います。		医師の指示で徐々に安静度が拡大していきます。	
食事	医師の指示で食事、水分が開始になります。 術後翌日の昼から術前と同様の食事が開始となります。 医師の許可があれば、点滴が終了となります。(抗生剤などある場合は点滴の針が残ります) 差し入れ等は、医師の許可がある場合のみです。			
清潔	体拭きをお手伝いします。	術後翌日より医師の許可でシャンプーができます。	胸の管が抜けた2日後より医師の許可でシャワーができます。	
排泄	尿管がはいっています。医師の許可があれば尿管が抜けます。			
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導 在宅復帰支援計画 総合的な機能評価	手術後、集中治療室へ入室します。	術後1日目に集中治療室からベッドで病棟へ帰室します。 手術後から寝たまの生活が続いていて、肺の機能が弱っています。肺炎などを起こさないためにも、動ける範囲でどんどん動いて行きましょう。 痛みが強いときや眠れないときは、医師の指示にてお薬をお渡します。 また、不安な点、気になることがあるときは、お知らせください。		胸の管が抜けた翌日に退院となります。退院後、初めての呼吸器外科受診時は、必ず家族と共に受診して下さい。 

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

市立四日市病院 呼吸器外科